

まじないの

世界

企画展

鬼をもって鬼を制す

地鎮埋納物

呪符木筒

2021 3.6 sat → 4.17 sat

- 「展示構成」
1. 邪気を祓う ~呪符と形代~
 2. 鬼と武士 ~辟邪の武~
 3. あそびとまじない

主催 鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)

開館時間 10:00~16:00(入館は15:30まで)

休館日 日曜・祝日

観覧料 (一般) 300 [210]円 (小・中学生) 100 [70]円*

住所 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

電話 / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545

※[]内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

鬼をもつて鬼を制す

世界

企画展

まじないの



生活のなかで直面するさまざまな災いや病。こうした自らの力の及ばない現象を目の
当たりにしたとき、昔の人々は「呪い」を使って対処してきました。時には強力な神仏の力を
借りて、呪符を身に着けたり、形代(身代わりの人形)に罪や穢れを移して水に流したり
することで、邪気を祓ったのです。とりわけ人々を悩ませた疫病は、古代より鬼や魔物の
仕業と考えられ、鬼たちは身近に潜んでいました。

鎌倉市内からは、「鬼」や「急々如律令」といった呪文が記された木札(呪符)や祓いの
儀式に使われる形代、土地の神を鎮めるための地鎮埋納物のほか、羽子板や独楽などが
出土しています。羽子板などの子どもの遊びも、無病息災を願うまじないの一種です。これ
らは、鎌倉に仏教信仰が広がる一方で、人々がまじないの世界にも生きていたことを示す
ものです。また、鬼を追い祓うのは陰陽師や武士たちの役割でした。とくに、天皇家・将軍家
の出産や罹病など命に関わる重要な場面では、武士が弓の弦を手で引き鳴らす鳴弦(弦打)を
行って鬼たちを威嚇し、邪気を祓いました。

本展覧会では、呪符や形代などの出土品を中心に集め、そこから浮かび上がる鎌倉の
まじないの世界を展観します。あらゆる災難や病から逃れたいと願う気持ちは、今も昔も
変わりません。中世の人々がまじないに託した願いを感じながらご覧いただければ幸いです。



呪符木簡(若宮大路周辺遺跡群)



形代(刀形・矢形)(若宮大路周辺遺跡群)



地鎮埋納物(笹目遺跡)



大江山入図(鎌倉国宝館所蔵)



鬼瓦(史跡永福寺跡)

鎌倉歴史文化交流館

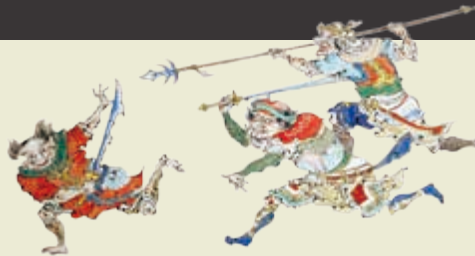
開館時間 / 10:00~16:00(入館は15:30まで)
休館日 / 日曜・祝日
観覧料 / (一般) 300 [210] 円 (小・中学生) 100 [70] 円※
住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
電話 / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545
mail / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※ []内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を
受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示し
てください。

アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

*一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。
*障がい者専用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。



©Forward Stroke inc

